

# 第49回 株主通信

2017年3月期第2四半期

2016年4月1日から2016年9月30日まで



## Global 2<sup>nd</sup> Stageに向けて

### 👉 マークについて

NTTデータの株主通信はWebとの連携を強化しています。NTTデータのホームページへ移動後、👉 のガイダンスに従って画面をクリックしてください。

NTTデータ

検索



### Contents

#### 中期経営計画について

—Global 2<sup>nd</sup> Stageに向けて— 1

業績概況 7

#### こんなところにNTTデータ！

銀座最大級の商業施設にも！ 9

# 中期経営計画について

## — Global 2<sup>nd</sup> Stageに向けて —



代表取締役社長  
岩本敏男

当社グループは、中期経営計画「NTT DATA : ASCEND ~Rise and grow our global brand~」(2017年3月期～2019年3月期)のもと、「Global 2<sup>nd</sup> Stage」を視野に入れた取組を開始しました。

中期経営計画では、各国・地域のローカルプレゼンスの向上を中核的なテーマとし、グローバルブランドの確立を目指します。具体的には、多国籍企業をはじめとする多くのお客様のトップマネジメントから事業パートナーとして認知されることを目指すものであり、そのためには、各国・地域のITサービス業界における売上高上位に入る必要があります。その達成度を測る指標として、「連結売上高2兆円超」を目標として設定しました。

また、長期にわたる持続的な成長のためには、「技術革新による価値創造」に取り組む必要があり、それを中期経営計画の基本戦略のひとつとしています。この戦略の遂行において投資は不可欠です。さらに、ローカルプレゼンスの向上のためには、有望なM&Aへの積極的な投資が必要です。よって、これらの投資原資として必要な営業利益額を目標として設定しました。

### 中期経営計画目標値

2019年3月期目標



\* 対2016年3月期(調整項目: 新規領域への投資増分)

## 中期経営計画の基本方針

当社グループは、前中期経営計画において、グローバルでの事業基盤を確立しました。一方、日本などの一部を除き、各國市場ではプレゼンスが低い状況にあります。また、技術の加速度的な進展によるデジタル化の波が到来しており、ITの戦略的活用による事業拡大や新規事業創出に対するニーズが高まっています。このような状況を踏まえ、2017年3月期～2019年3月期の中期経営計画を策定しました。世界各地域での事業成長を追求し、ローカルプレゼンスの向上により、グローバルブランドとしてブランド価値の向上を図ります。

## Global 2<sup>nd</sup> Stage グローバルブランドの確立

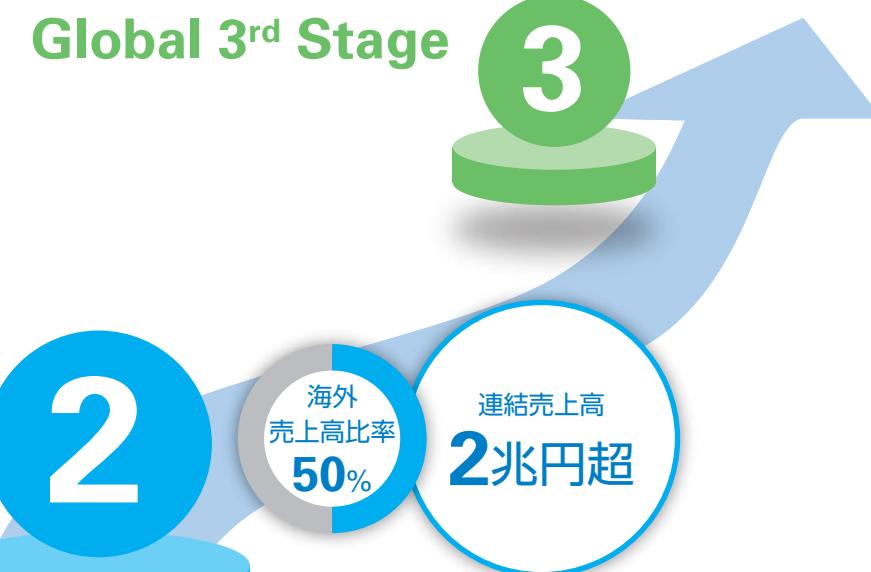
**NTT DATA : ASCEND**  
Rise and grow our global brand

2017年3月期～2019年3月期

## Global 1<sup>st</sup> Stage グローバルカバレッジの拡大

1

海外  
売上高比率  
30%



## ローカルプレゼンスの向上

### リマーケティングの更なる深化

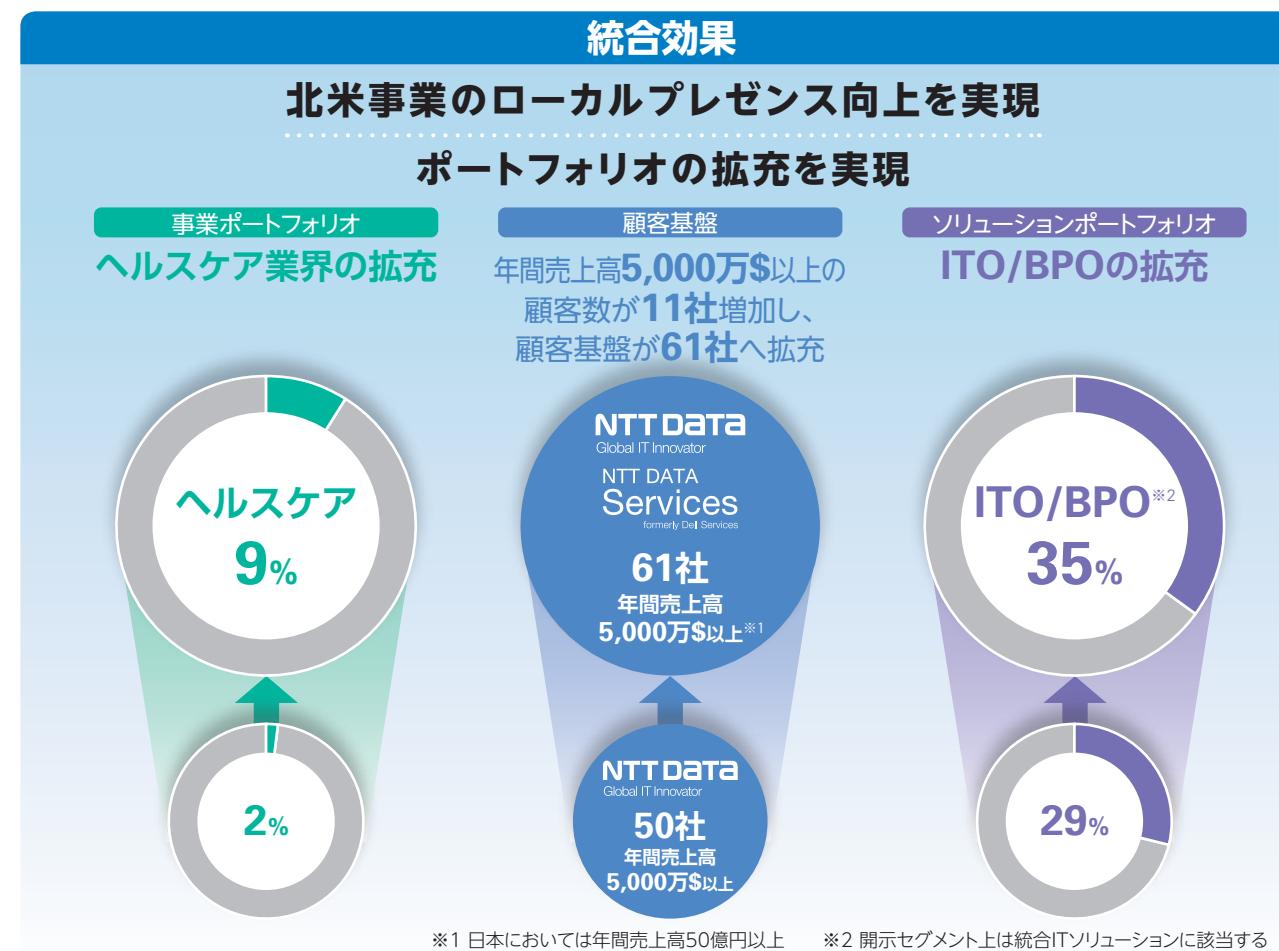
- 環境変化を好機と捉え、各國の特性に合わせた成長戦略で、既存市場の更なる拡大と新規市場の創出を加速する

### 技術革新による価値創造

- デジタル社会の変化を捉え、お客様の競争力のコアとなるシステムやサービスを早期かつ柔軟に提供できる生産技術を磨き上げる
- 最先端技術の発掘・実用化とパートナー企業との協業を世界各国で行い、お客様と革新的なビジネスを共創する

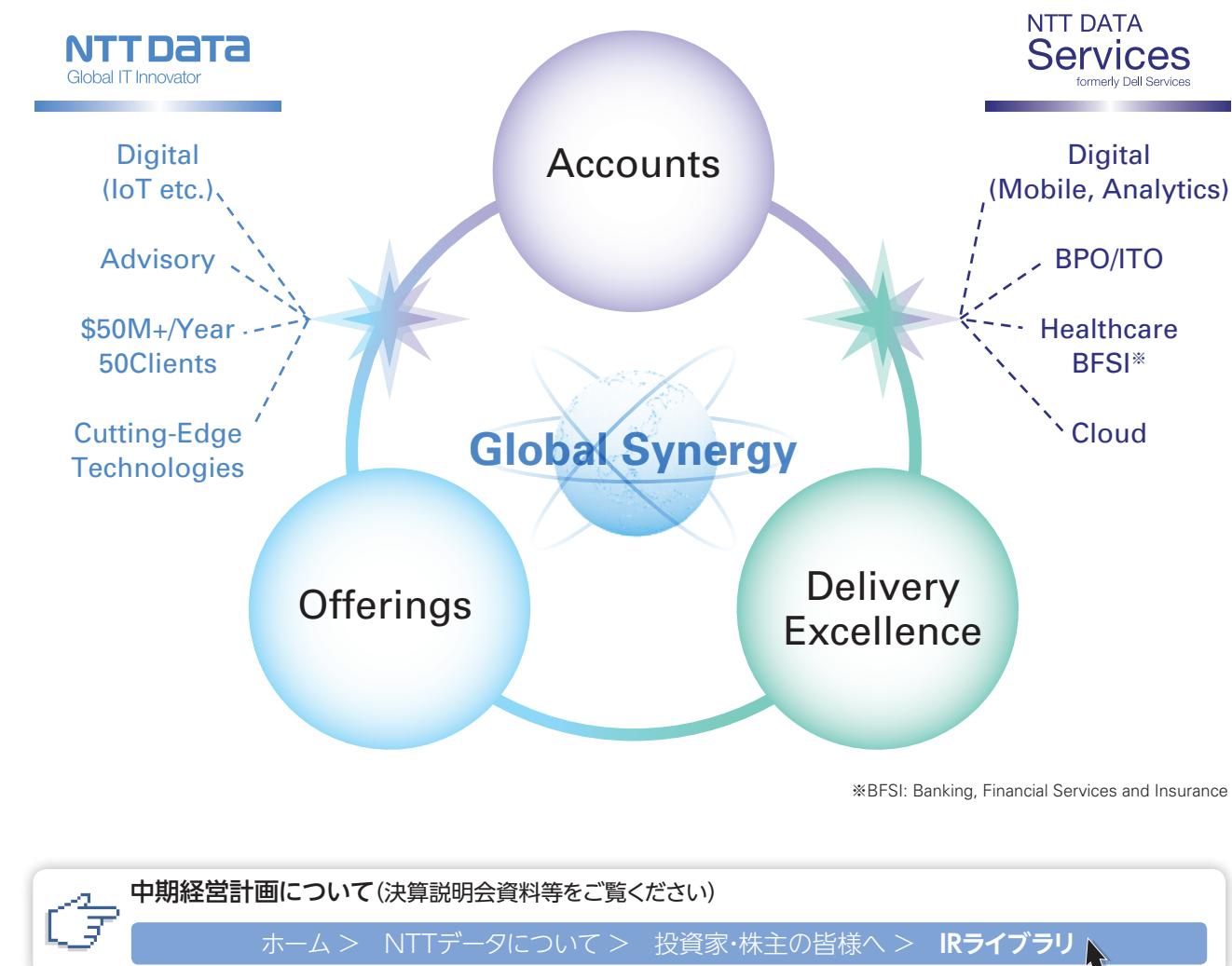
## NTT DATA Servicesについて

当社グループは、Dell Systems Corporation等の子会社化及びITサービス関連事業等を譲り受け、NTT DATA Servicesとして継承しました。NTT DATA Servicesは、北米地域を中心として、クラウドサービスやアプリケーション関連サービス、BPOサービスを提供しており、主要顧客としてヘルスケア、製造、サービス業、金融機関や連邦政府などに強固な基盤を持っています。特に、医療機関や医療保険を中心としたヘルスケア業界向けには、業界特化型のデジタルソリューションやBPOサービスを提供しており、高い評価を獲得しています。今回当社グループは、NTT DATA Servicesを通じて、主に北米地域の各業界における事業を拡大すると同時に、クラウドサービスやBPOサービスにおいても、最先端の技術を活用したサービスの強化を目指します。



## NTT DATA Services 統合後の展望

当社グループのグローバルアセットと、NTT DATA Servicesのアセットを掛け合わせることでシナジーを創出し、新たな成長を実現します。



# 業績概況

## 2017年3月期上半期 業績のポイント

- ① 受注高、売上高は前期に引き続き好調
- ② 営業利益は、増収及び不採算案件の抑制等により増益

### 売上高

前期	7,432
当期	7,796億円

前期比  
**+4.9%**  
**+364**億円

### 受注高

前期	8,246
当期	9,756億円

前期比  
**+18.3%**  
**+1,510**億円

### 親会社株主に帰属する四半期純利益

前期	157
当期	290億円

前期比  
**+84.5%**  
**+133**億円

### 営業利益

前期	311
当期	453億円

前期比  
**+45.8%**  
**+142**億円

### 配当金(中間配当)

前期	30
当期	35円

前期比  
**+5円**

## 1 上半期業績 について

受注高、売上高、そして各段階利益のすべてにおいて対前期比で増加となりました。受注高、売上高は、大型案件の獲得、ビジネス規模の拡大及び欧州子会社における決算期統一等によるプラス影響により、増加しています。また、営業利益は、増収及び不採算案件の抑制等によるプラス影響により、すべての事業セグメント(公共・社会基盤、金融、法人・ソリューション、グローバル)で増加しています。

最近の業績の動向等を踏まえ、2017年3月期の通期業績見通しを修正しています。売上高は、為替レートの見直しによるマイナス影響があるものの、Dell Services部門の譲り受けによるプラス影響により、上方修正をしています。また、受注高は、

## 2 通期業績見通し について

前記理由に加え、直近の業況を踏まえたプラス影響により、上方修正をしています。

営業利益は、Dell Services部門の譲り受け等による増益や直近の業況を踏まえたプラス影響があるものの、Dell Services部門の譲り受けに伴うのれん・PPA償却費の増加やアドバイザリー費用等の発生もあることから結果として見通しは変更していません。なお、為替レートの見直しによる影響は軽微です。

## 3 株主還元方針と 当期の配当金について

当社は現在も、成長の途上にあると考えており、今後の持続的な成長のために必要な事業投資や技術開発に資金を振り向けてまいります。事業投資から得られるリターンにより企業価値を向上させることこそが、本質的な株主還元であると考えています。そのような投資の観点に加えて、財務体質の維持・強化の観点も総合的に勘案して配当を決定し、安定的に実施してまいります。

2017年3月期の年間配当金は1株当たり70円を予定しており、中間配当は、1株当たり35円とさせていただきます。

### 当期の通期業績見通し (単位:億円)

#### 受注高



#### 売上高



#### 営業利益



#### 親会社株主に帰属する当期純利益



こんなところに  
NTTデータ！



NTTデータグループのサービスは  
生活のいたるところにあふれています



東急プラザ銀座：コンセプトは  
「Creative Japan～世界は、  
ここから、おもしろくなる。～」



CAFIS Arch®端末

## 銀座最大級の商業施設にも！

2016年3月31日、「東急プラザ銀座」がオープンしました。この銀座最大級の商業施設に、NTTデータの開発したクラウド型総合決済端末「CAFIS Arch®(キャフィス アーチ)」が導入されました。

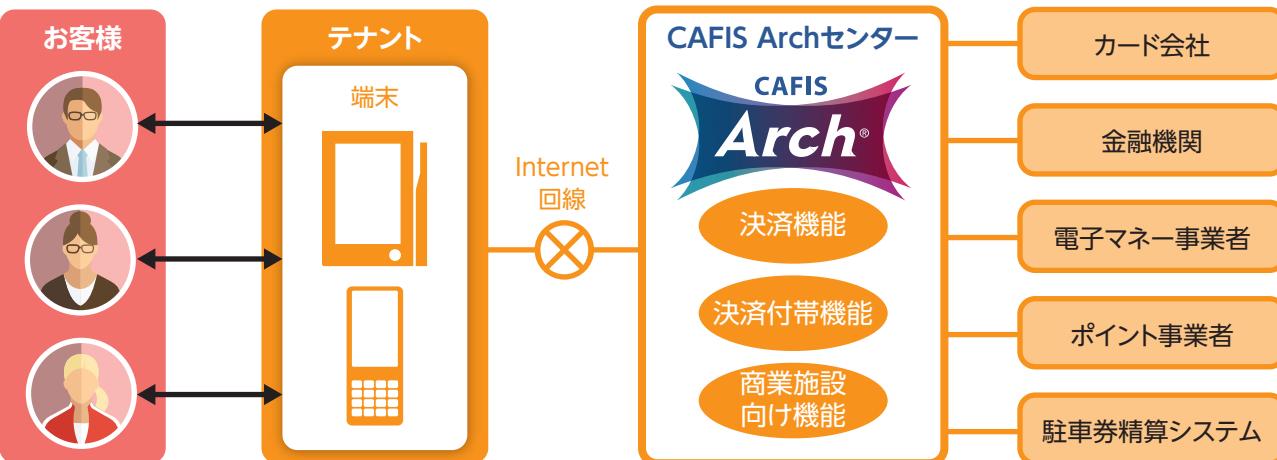
多くの訪日外国人が訪れる銀座エリアにおいて、クラウド型で高い拡張性を持つ「CAFIS Arch®」は、クレジットカード決済をはじめ、外貨建てクレジットカード決済や銀聯カード決済等のインバウンド向け決済機能、ポイント処理機能、駐車券システムとの連携といった商業施設向けの機能を1台の端末で実現し、非常に利便性の高い決済環境を提供しています。

また、商業施設内のテナントにとっても、決済及び決済に付帯する業務を1台の端末で完結できることは、レジスペースの有効活用や店頭オペレーションの簡素化など、大きなメリットとなっています。

ホームページに詳細な説明を掲載しています。

ホーム > ニュース > ニュースリリース > 2015年12月14日 >  
NTTデータの提供するクラウド型総合決済端末「CAFIS Arch®」を  
来春開業の商業施設「東急プラザ銀座」へ導入決定

### CAFIS Arch®のサービス概要



### まだまだこんなところにも！



銀行や生命保険、航空機に大型の橋、他にも  
様々な場面でNTTデータグループのシス  
テムが活用されています。ホームページ上に  
各種事例を掲載しておりますので、ぜひ最新  
の取組みをご覧になってください。

ホーム > お客様事例

## 株主コミュニケーション

### マイナンバー制度に関する手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

#### 【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

##### 主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

## 会社概要

商号	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
本社	〒135-6033 東京都江東区豊洲三丁目3番3号 豊洲センタービル
	電話: (03) 5546-8119 (IR・ファイナンス室)
	URL: <a href="http://www.nttdata.com/jp/ja/">http://www.nttdata.com/jp/ja/</a>
設立年月日	1988年5月23日
資本金	142,520百万円 (2016年9月30日現在)
従業員数	連 絡: 84,012名 当社単体: 11,437名 (2016年9月30日現在)



アニュアルレポートはこちらをご覧ください

ホーム > NTTデータについて >  
投資家・株主の皆様へ > IRライブラリ >  
IRツール > アニュアルレポート 

UD FONT



#### マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

##### ● 証券口座にて株式を管理されている株主様

お取引の証券会社までお問い合わせください。

##### ● 証券会社とのお取引がない株主様

下に記載の三井住友信託銀行 証券代行部までお問い合わせください。

#### 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	東京証券取引所市場第一部
電子公告(当社ホームページ)	URL: <a href="http://www.nttdata.com/jp/ja/">http://www.nttdata.com/jp/ja/</a>
公告方法	ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
証券コード	9613

#### お知らせ

● 口座振替(特別口座から証券会社に開設した振替口座に株式を振替えること)のお手続きについては、以下の三井住友信託銀行のフリーダイヤルまでお問い合わせください。

お問い合わせ先:

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話: ☎ 0120-782-031(平日9:00~17:00)

#### 株式に関するお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様のご住所変更などのお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。  
特別口座の株式についてのご照会及びご住所変更などのお届出は、上記のフリーダイヤルまでお願いいたします。



詳細な株式情報

ホーム > NTTデータについて >  
投資家・株主の皆様へ > 株式情報 